

# 潮流

大和の「山の辺の道」は、日本書紀にも登場する神話と伝説に彩られた、現存する日本最古の道として有名である。過日、天理から石上神宮を経て崇神天皇陵まで、古社寺や古墳が多数点

在している街道を散策し、心むむ自然のたたずまいに万葉の香を偲(しの)んだ。当時の人々は何を語りながら、何の目的のためにこの街道を行き来したのかと想像すると、まるで飛鳥人

鳥取ガス(株)取締役社長 児嶋 祥悟



## 歩いたあとが道になる

の息吹が聞こえて来るような心地であった。

「人間が歩いたあとが道になる」と言ったのは魯迅であるが、「道」という漢字はもと「首をぶら下げて歩く」の意で、シルクロードの古い習慣では、他部族の首級を傍らに円錐

の息吹が聞こえて来るようである。円錐形の塩の小山をつくって清める「盛塩」は、道の神の面影をどめ

道は、道の歴史は、人間の生活史と言われるように獣道(けものみち)から始まり、生活の道、交易の道へと発展し、交通路として整備され、時代を反映しながら、

対馬を経て朝鮮海峡を渡り、釜山までを、トンネルと道で結ぶ日韓トンネル構

地球が本当にひとつになる日がいずれはやって来るであろう。

恒吉の実感でもあったようである。父は若いころを大

寂しい道と感じる側面もあったのかも知れない。

(すい) 状に積み上げて、勝利の印とする象形を「道」と言い、そこは処刑の場所も備えていたという。

その役割と機能は変容し、今日に至っている。

さらに去年、ドーバー海峡に全長五十キロのトンネルが開通し、高速直通列車

海を渡って来た。二十一世紀には、その海の底をトン

故郷へ向かって歩み始めた父の心境がどのようなもの

た。日本は戦後五十年を迎え、世界の東西冷戦構造は

かの有名な楊貴妃も捕らえられ、道で処刑された。道は盤の支配する所でもあり、神へ直接につながった所とする概念もあったよう

が、これまでの中心主議題に次の構想がある。再日本と称される地域の特徴ある整備と活性化のための方

策として、九州から奄岐、

「まっすぐな道でさびしい」という自由律俳句は、弧高な生を送った山頭火

うとすれば、やはり厳しく

ではなからうか。(鳥取市)